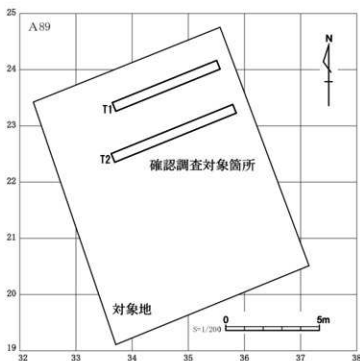


13. 1868.T次調査報告

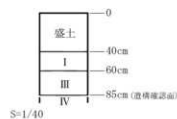
遺跡名	武蔵国分寺跡関連遺跡
グリッド	A89-3次
所在地	東京都府中市武蔵台2-16-7
現地調査期間	令和2年10月23日
面積	6.5㎡
遺物出土量	なし
検出遺構	その他の遺構1基(A89-SX1) [縄文時代か]
調査担当者	佐藤梨花
調査従事者	伊藤和人・伊藤朱・磯部ゆい (合)Taiō



第 1868. T-1 図 調査地区位置図 (1/5,000)

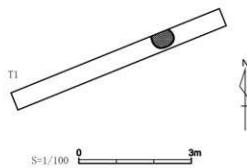


第 1868. T-2 図 トレンチ配置図 (1/200)



S=1/40

第 1868. T-3 図 柱状模式図



第 1868. T-4 図 遺構配置図

1 調査の概要

当調査地区は、武蔵国分寺跡関連遺跡に所在し、国史跡武蔵国分寺跡（僧尼寺）の約 580 m 北西に位置する。

本件は、個人住宅建設に伴う調査である。周辺の調査状況から、遺構検出面は浅いと想定され、工事により部分的に（6.5㎡）遺構検出面に至ると想定されたため、確認調査を実施した。

2 遺構と遺物

現地表面から 60 cm で III 層上面、85 cm で IV 層上面に至る。IV 層上面で遺構 1 基を検出した。

A 89 - S X 1 東西 60 cm、南北 40 cm 以上を測る。北側は調査対象外へ広がる。また、工事ではこれ以上深く掘削はしないことから、遺構の掘下げも行わなかった。覆土の観察から、縄文時代の遺構と推測される。遺物の出土はなかった。

3 まとめ

建設工事では、遺構検出面より深い掘削にはならないこと、遺構はトレンチ北側へ延びるが、工事範囲外であること、などから、工事による遺構の損傷は無く、本調査は不要と判断し、記録を作成し確認調査を終えた。



第 1868. T-5 図
トレンチ 1 全景 (東)



第 1868. T-6 図
トレンチ 2 全景 (東)



第 1868. T-7 図
作業風景